

令和2年度事業報告

1. 概括

令和2年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、政府の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策や令和2年度第1次・第2次補正予算の効果も相まって、持ち直しの動きがみられた。他方、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばという状況であった。

このような経済状況の下、さらにウイルス感染症拡大の恐れが続くなか、令和2年度の当会の活動は大きく制約されるものとなった。例会においては、4、6、12、2月例会を中止するとともに各月例会の懇親会も実施を見送った。また、4月の幹事会、5月の通常総会は書面審議形式での実施となった。

一方、同友会活動のもう一つの柱である委員会活動については、今年度新たに「広域支援検討委員会」及び「女性活躍推進委員会」を立ち上げるとともに各委員会は積極的に活動を行い、学習、議論を重ねることができた。

なお、恒例の海外視察研修はドイツ・チェコ方面を企画したものの、コロナの拡大を懸念し実施を見送った。

対外交流活動では、第33回全国経済同友会セミナー（高知市）、6 経済同友会代表幹事懇談会(大阪市)、第7回西日本経済同友会代表者会議（福岡市）、第118回西日本経済同友会会員合同懇談会(大阪市)、全国経済同友会代表幹事円卓会議（函館市）などがコロナ禍のためすべて中止となるなか、第58回関西財界セミナー（オンライン開催）については出席した。

また、関係経済諸団体と連携して、リニア中央新幹線の名古屋以西の早期開業、京奈和自動車道の建設促進要求など積極的に推進した。

以上のとおり、本年度の当会は、新型コロナウイルス感染症という大きな制約のなか、できることを模索しながらも、引き続き、自主・自立の精神で、経営者が自らなすべきことを考え、志の高い政策集団をめざして活動を展開した。

2. 月例会・フォーラム

月例会		
<中止>	4月例会	
5月13日	令和2年度通常総会 第1号議案 令和元年度事業報告並びに同収支決算報告について 第2号議案 令和2年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)について 第3号議案 役員改選について	<書面審議>
<中止>	6月例会	
7月31日	7月例会 演題：「ヤマヒロ的奈良の見方」～今後の奈良に求めるもの～ 講師：アナウンサー 山本 浩之 氏	ホテル日航奈良 飛天の間 出席者87名
8月21日	8月例会 演題：「未来社会の課題発見と新たな挑戦～イノベーション都市圏KANSAIの実現に向けて～」 講師：一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事 深野 弘行 氏 (伊藤忠商事株式会社 専務理事 社長特命(関西担当))	奈良県コンベンションセンター 出席者87名
9月24日	9月例会 演題：「漁業版SPAで一次産業を活性化する 川上→川下までの一気通貫モデル」 講師：株式会社鯖や 代表取締役社長 右田 孝宣 氏	奈良ホテル 大和の間 出席者82名
10月26日	10月例会 演題：「政局を語る」 講師：内閣官房参与 飯島 勲 氏	奈良県コンベンションセンター 出席者99名
11月25日	11月例会 演題：「奈良県経済の活性化への展望」 講師：奈良県副知事 末光 大毅 氏	ホテル日航奈良 飛天の間 出席者88名
<中止>	12月例会(忘年会)	
2月22日	1月例会 内容：令和3年年頭所感説明 100年企業の経営について 株式会社大和農園ホールディングス 代表取締役会長 吉田 裕 株式会社イムラ封筒 取締役会長 井村 守宏 委員会活動報告	ダイロイヤルホテル THE KASHIHARA ロイヤルホール大和 出席者79名
<中止>	2月例会	
3月26日	3月例会 演題：「我が国の進むべき道」 講師：元 内閣総理大臣 小泉 純一郎 氏	ホテル日航奈良 飛天の間 出席者118名

フォーラム

11月16日	11月フォーラム 演題：「今後日本が求められる災害復旧に備えた支援とは」 －東日本大震災の当時と現状そして今後－ 講師：株式会社深松組 代表取締役社長 深松 努 氏	ホテル日航奈良 飛天の間 出席者64名
--------	---	------------------------

3. 委員会活動

令和3年年頭所感起草委員会		ワーキング3回	委員会2回
10月5日	第1回ワーキング部会		奈良県経済倶楽部 3階会議室 出席者8名
10月27日	第2回ワーキング部会		奈良県経済倶楽部 3階会議室 出席者9名
11月10日	第1回年頭所感起草委員会		アクティ奈良 6階スタンダードルーム 出席者13名
11月26日	第3回ワーキング部会		奈良商工会議所 302会議室 出席者9名
12月10日	第2回年頭所感起草委員会		奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者13名

企業活性化委員会		7回	
第11回	4月3日	テーマ：奈良県林業の現状と課題について レクチャー：吉野銘木製造販売株式会社 会長 貝本 博幸 氏	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者5名
	6月1日	企業活性化委員会 予備会議	奈良中央信用金庫本店 出席者4名
第12回	7月17日	テーマ：奈良県林業の現状と課題 レクチャー：株式会社イムラ 代表取締役社長 井村 義嗣 氏 イムラ地産地消の取り組み 一住宅産業は地場産業一	奈良商工会議所 4階小ホール 出席者12名
第13回	8月25日	テーマ：奈良県林業の現状と課題 レクチャー：森林ジャーナリスト 田中 淳夫 氏 「奈良シカできない希望の林業」	奈良商工会議所 4階小ホール 出席者13名
第14回	9月14日	テーマ：デジタル化への対応 レクチャー：日本電気株式会社西日本統括支社 エリアビジネスクリエーション エキスパート（まちづくり担当）原 雅樹 氏 「DX（デジタルトランスフォーメーション）で変わるビジネスと働き方」	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者12名
第15回	10月15日	テーマ：奈良県経済の活性化 レクチャー：株式会社南都銀行 取締役副頭取執行役員 石田 諭 氏 「奈良県経済活性化に向けた南都銀行グループの役割」	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者19名
第16回	11月26日	テーマ：奈良県の林業・木材関連産業活性化のまとめ	奈良商工会議所 302会議室 出席者9名
第17回	2月15日	テーマ：BCPについて学ぶ レクチャー：東京海上日動火災保険株式会社 奈良支店奈良支社 支社長代理 亀井 英彦 氏	<リモート会議> 出席者11名

観光活性化委員会			7回
	6月18日	観光活性化委員会 相談会	柿の葉すし本舗たなか なら本店 出席者2名
第11回	7月21日	テーマ：コロナ収束後の観光について	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者14名
第12回	8月4日	テーマ：滞在型観光の充実 泊まる奈良への提案	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者18名
第13回	9月4日	テーマ：滞在型観光の充実 泊まる奈良への提案	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者17名
第14回	10月9日	テーマ：奈良に来てほしい人とは？～若い女性が見る・感じる奈良の魅力～ レクチャー：奈良女子大生	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者14名
第15回	11月27日	テーマ：Withコロナ、アフターコロナ時代の奈良県観光のあり方 ～Go To キャンペーン、インバウンドをどう考える～	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者14名
<延期>	12月4日 ～5日	県外先進観光地視察	足助(愛知県豊田市足助町)
第16回	2月8日	テーマ：あなたがお奨めする奈良宿泊旅行	<リモート会議> 出席者15名
第17回	3月17日	テーマ：「あなたがお奨めする奈良宿泊旅行」を振り返って	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者18名

広域支援検討委員会			4回
第1回	7月16日	テーマ：委員初顔合わせおよび今後のスケジュールについて	奈良県経済倶楽部 3階会議室 出席者12名
第2回	9月17日	テーマ：11月フォーラム開催について 現状の災害支援の限界について	奈良県経済倶楽部 3階会議室 出席者12名
第3回	11月16日	11月フォーラム参加 演題：「今後日本が求められる災害復旧に備えた支援とは」 －東日本大震災の当時と現状そして今後－ 講師：株式会社深松組 代表取締役社長 深松 努 氏	ホテル日航奈良 飛天の間
第4回	2月15日	テーマ：BCPについて学ぶ レクチャー：東京海上日動火災保険株式会社 奈良支店奈良支社 支社長代理 亀井 英彦 氏	<リモート会議> 出席者11名

女性活躍推進委員会 4回			
	7月20日	女性活躍推進委員会 事前打合せ	南都銀行 本店 出席者3名
	8月6日	女性活躍推進委員会 奈良県子ども・女性局訪問	奈良県庁 訪問者3名
	8月28日	女性活躍推進委員会 事前打合せ	奈良経済同友会事務局 出席者3名
第1回	9月7日	テーマ：委員初顔合わせおよび今後のスケジュールについて	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者12名
第2回	11月17日	テーマ：「企業経営における女性活躍推進の重要性について」 レクチャー：奈良県子ども・女性局女性活躍推進課 課長 西橋 奈穂 氏	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者11名
第3回	3月2日	テーマ：今後の検討テーマ、進め方について	<リモート会議> 出席者11名
	3月23日	女性活躍推進委員会 事前打合せ	奈良経済同友会事務局 出席者4名
第4回	3月30日	テーマ：女性管理職比率の向上について	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者10名

総務委員会 4回			
第1回	6月12日	議題：委員会活動内容、委員会内規（案）について 例会スケジュール及び講師検討 特別企画（アトラクション） 新委員会立ち上げ 他	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者16名
第2回	10月3日	議題：新入会申込者事前審査、今後の予定 他	ザ・ヒルトップテラス奈良 出席者10名
第3回	11月6日	議題：新入会申込者事前審査	<書面審議>
第4回	12月18日	議題：新入会申込者事前審査、今後の予定 他	ザ・ヒルトップテラス奈良 出席者13名

4. その他の事業活動

正副代表幹事会			5回
第1回	5月8日	新入会員入会審査	< 書面審議 >
第2回	5月19日	今後の事業運営について 他	奈良県経済倶楽部 4階会議室 出席者11名
第3回	10月20日	新入会員入会審査、今後の事業運営について 他	< リモート会議 > 出席者9名
第4回	12月21日	新入会員入会審査	< 書面審議 >
	3月1日	代表幹事打ち合わせ会 (第5回正副代表幹事会について)	春日ホテル 出席者5名
第5回	3月12日	①令和2年度収支決算(着地見込み) ②令和3年度事業計画(案)、収支予算(案) ③役員改選について ④各委員会活動について ⑤今後の予定について	奈良県経済倶楽部 5階小会議室 出席者12名

幹事会			
第1回	4月14日	第1号議案 令和元年度事業報告並びに同収支決算報告について 第2号議案 令和2年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)について 第3号議案 役員改選(新役員の通常総会への推薦)について 第4号議案 特別会員の委嘱について	< 書面審議 >

親睦活動			
< 中止 >		春のゴルフ親睦会	
	8月28日	野球観戦「オリックスVSロッテ」	京セラドーム大阪 ビスタルーム 出席者13名
	10月24日	秋のゴルフ親睦会	飛鳥カンツリー倶楽部 参加者35名

その他

4月8日	会計監査	共同精版印刷(株)
4月9日	会計監査	森田会計事務所
4月16日	令和2年度海外視察研修 欧州企画案検討会	奈良県経済倶楽部
4月28日	「新型コロナウイルス感染症影響度調査」知事へ提出、記者発表	県政記者クラブ 北、吉田、井阪
6月3日	「新型コロナ経済対策について」佐藤慶事務所とのミーティング	<リモート会議> 当会出席者8名
7月30日	「新型コロナウイルス感染症影響度(7月)調査」記者発表	県政記者クラブ
10月26日	北義彦 前代表幹事 慰労会および 福本良平 特別幹事 褒章受章記念祝賀会	JWマリオットホテル奈良 吉野 出席者89名
11月12日	公正取引委員会との懇談会	<リモート会議> 吉田
11月20日	木材利用推進全国会議総会	<リモート会議> 井村、谷奥、井阪
12月3日	京都経済同友会との意見交換会	奈良県経済倶楽部 吉田、井村、井阪、中井
1月6日	令和3年経済3団体合同記者会見 (奈良商工会議所、(一社)奈良経済産業協会、奈良経済同友会 共催)	ホテル日航奈良 吉田、井村
3月19日	経済講演会 演題：「最近の金融経済と関西経済の情勢について」 講師：日本銀行 理事 大阪支店長 高口 博英 氏	奈良県コンベンションセンター 当会出席者70名
<中止>	令和2年度海外視察研修 ドイツ・チェコ方面	
<中止>	令和3年経済3団体合同新年名刺交換会	

5. 他地区経済同友会との懇談交流

<中止>	4月16日 ～17日	第33回全国経済同友会セミナー（高知市）	
<中止>	4月22日	6経済同友会代表幹事懇談会（大阪市）	
<中止>	7月21日	第7回西日本経済同友会代表者会議（福岡市）	
<中止>	10月1日 ～2日	2020年度全国経済同友会事務局長会議（神戸市）	
<中止>	10月23日 ～24日	西日本経済同友会会員合同懇談会（大阪市）	
<中止>	11月9日	全国経済同友会代表幹事円卓会議（函館市）	
	2月4日	第58回関西財界セミナー テーマ：「危機を乗り越えて創る未来～関西の底力を発揮するとき～」 基調講演：「コロナ禍を乗り越え共創する未来」 慶応義塾大学 医学部医療政策・管理学教授 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 テーマ事業プロデューサー 宮田 裕章 氏	<オンライン開催> 吉田、井阪
	3月18日	西日本事務局長会議	<リモート会議> 井阪

6. 関係諸団体会議への出席等

4月	14日	奈良県就労支援事業者機構 令和2年度理事会	<書面審議> 北
5月	1日	奈良県就労支援事業者機構 令和2年度総会	<書面審議> 北
	15日	奈良県地域産業振興センター 監事監査	<書面審議> 井阪
	26日	奈良県地域産業振興センター 令和2年度第2回理事会	<書面審議> 井阪
	28日	リニア中央新幹線建設促進期成同盟会 総会	<書面審議> 吉田
	28日	関西サイエンスフォーラム 令和2年度第1回理事会	<リモート会議> 井阪
6月	11日	奈良県地域産業振興センター 令和2年度第2回評議員会（定時評議員会）	奈良県産業振興総合センター 井阪
	23日	奈良市シルバー人材センター 令和2年度定時総会	奈良県コンベンションセンター 井阪
	23日	奈良市シルバー人材センター 令和2年度第2回理事会	奈良県コンベンションセンター 井阪
	25日	リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会 監査	奈良商工会議所 井阪
7月	3日	リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会 理事会	<書面審議> 吉田
	20日	京奈和自動車道建設促進奈良県民会議 総会	<書面審議> 吉田
8月	5日	奈良市シルバー人材センター 令和2年度第3回理事会	奈良市企業局 井阪
	21日	リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会 総会	<書面審議> 吉田
	25日	合同新年名刺交換会 打ち合わせ会議	奈良商工会議所 井阪
	26日	令和2年度 第1回奈良県渋滞対策協議会	<書面審議> 吉田、井阪
	31日	奈良市シルバー人材センター 令和2年度第1回事業部会	奈良市シルバー人材センター 井阪
9月	23日	合同新年名刺交換会 打ち合わせ会議	奈良商工会議所 井阪
	29日	奈良市シルバー人材センター 令和2年度第4回理事会	奈良市企業局 井阪
11月	17日	奈良県ユニセフ協会 役員会（2021年度 事業計画・予算）	<書面審議> 吉田
12月	8日	奈良地域留学生交流推進会議 運営委員会	奈良女子大学 井阪
	22日	奈良市シルバー人材センター 令和2年度第5回理事会	奈良市役所 井阪
1月	13日	リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会 総会	<書面審議> 吉田
2月	18日	令和2年度 第2回奈良県渋滞対策協議会	<書面審議事前説明>

3月	25日	奈良市シルバー人材センター 令和2年度第3回事業部会	吉田、井阪 奈良市シルバー人材センター
	2日	奈良県ユニセフ協会 役員会 (2020年度 事業報告・決算)	井阪 <書面審議>
	24日	奈良市シルバー人材センター 令和2年度第6回理事会	吉田 奈良市役所
	25日	奈良県地域産業振興センター 令和2年度第3回理事会	井阪 奈良県産業振興総合センター
			井阪

7. 役員・委員会名簿

役員			
代表幹事 2名	吉田 裕 井村 守宏	(株)大和農園ホールディングス (株)イムラ封筒	代表取締役会長 取締役会長
副代表幹事 5名	田中 郁子 出口 悦弘 谷奥 忠嗣 和田 悟 中村 光良	(株)柿の葉すし本舗たなか ディライト(株) 谷一木材(株) (株)南都銀行 中村建設(株)	取締役会長 取締役会長 取締役会長 取締役常務執行役員 代表取締役社長
特別幹事 5名	福本 良平 鳶川 安雄 山田 善久 山本 太治 北 義彦	(株)福本設計 (一財)南都経済研究所 大光宣伝(株) (株)三輪山本 南都商事(株)	相談役 理事長 R3.3退任 代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長
幹事 40名	朝廣 佳子 乾 昌弘 上田 昌平 植田 英寛 卜部 能尚 大浦 晃平 岡村 匡倫 角谷 守啓 川井 喜樹 菊池 攻 黒田 浩之 小西 恵美 小林 茂樹 小山 新造 齊藤 正幸 佐藤 典嗣 柴田 義太郎 清水 克能 谷野 守弘 辻 将央 鐵東 敦史 豊澤 安男 中尾 七隆 萩原 斗志弘 畠山 晴衣 林田 壽昭 平山 文堂 前川 浩二 真柴 幸雄 松本 喜久子 松本 健介	(株)読売奈良ライフ (株)明新社 (株)レナ天満橋 (株)中和商事 ウラベ木材工業 (株)中和コンストラクション 岡村印刷工業(株) 奈良交通(株) 奈良信用金庫 奈良トヨタ(株) 黒田会計事務所 (株)丸和不動産 三和住宅(株) 小山(株) (医)新生会総合病院高の原中央病院 佐藤木材(株) (株)柴田衣料店 名阪食品(株) 奈良中央信用金庫 大峰堂薬品工業(株) (株)エヌ・アイ・プランニング 奈良豊澤酒造(株) (株)中尾組 (株)萩原農場生産研究所 (株)サロンまき 三笠産業(株) ダイワ精密プレス(株) (株)都市企画設計コンサルタント ダイシン化工(株) (福)白鳳会西大和保育園 S M B C日興証券(株)	代表取締役社長 代表取締役社長 会長 代表取締役 代表 R3.3退任 代表取締役社長 取締役社長 専務取締役 理事長 R2.9退任 取締役社長 所長 代表取締役社長 代表取締役会長 R2.10退任 代表取締役会長 理事長 代表取締役 取締役社長 代表取締役社長 専務理事 代表取締役社長 代表取締役 代表取締役会長 専務取締役 専務取締役 代表取締役 代表取締役会長 代表取締役 代表取締役 理事長 奈良支店長

	真柳 宏二	ホテル日航奈良	総支配人
	水谷 豊	(株)あかしや	取締役社長
	村島 靖基	村島硝子商事(株)	代表取締役
	森 雅彦	D M G 森精機(株)	取締役社長
	森川 善隆	大和信用金庫	理事長
	森田 康宏	ディテック(株)	代表取締役会長
	森本 俊一	三和澱粉工業(株)	代表取締役会長
	吉田 明史	(株)花の大和	取締役社長
	吉田 浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
監事	近東 宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長
2名	森田 務	税理士法人森田会計事務所	代表社員

年頭所感起草委員会（19名）

○	吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役会長
○	井村 守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
	田中 郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
	出口 悦弘	ディライト(株)	取締役会長
	谷奥 忠嗣	谷一木材(株)	取締役会長
○	和田 悟	(株)南都銀行	取締役常務執行役員
	中村 光良	中村建設(株)	代表取締役社長
○	大浦 晃平	(株)中和コンストラクション	代表取締役社長
	北村 ひとみ	アスカ工業(株)	代表取締役社長
	近東 宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長
	齊藤 正幸	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長
	清水 克能	名阪食品(株)	代表取締役社長
	谷野 守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
○	畠山 晴衣	(株)サロンまき	代表取締役
	松谷 幸和	奈良県信用保証協会	会長
○	真柳 宏二	ホテル日航奈良	総支配人
	松本 健介	SMBC日興証券(株)	奈良支店長
○	村島 靖基	村島硝子商事(株)	代表取締役
	吉田 浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長

○はワーキング部会メンバー

企業活性化委員会（18名）

担当代表幹事	井村 守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
委員長	谷奥 忠嗣	谷一木材(株)	取締役会長
副委員長	谷野 守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
委員	市岡 武	村本建設(株)	取締役常務執行役員
	梅咲 直照	桜井ガス(株)	代表取締役社長
	岡村 匡倫	岡村印刷工業(株)	取締役社長
	菊岡 洋之	(株)本家菊屋	代表取締役社長
	齊藤 正幸	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長
	佐藤 典嗣	佐藤木材(株)	代表取締役
	鈴木 啓司	オリックス(株)	阪奈支店長

	田尻 忠義	(株)楓工務店	代表取締役	
	中尾 哲弥	(株)マイナビ	奈良支社長	R2.11まで
	田中 勇次	(株)マイナビ	奈良支社長	R2.12から
	西垣 雅史	西垣林業(株)	代表取締役社長	
	福本 良平	(株)福本設計	相談役	
	松谷 幸和	奈良県信用保証協会	会長	
	村島 靖基	村島硝子商事(株)	代表取締役	
	山田 善久	大光宣伝(株)	代表取締役社長	
	吉岡 寛人	吉岡印刷(株)	代表取締役社長	

観光活性化委員会（20名）				
担当代表幹事	吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役会長	
委員長	田中 郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長	
副委員長	松谷 幸和	奈良県信用保証協会	会長	
	鈴木 健介	(株)奈良新聞社	取締役経営戦略室長	
企画委員	柴田 義太郎	(株)柴田衣料店	取締役社長	
	吉田 浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長	
委員	青木 博美	DMG森精機(株) 総務部	奈良福利厚生グループ 長	
	安藤 政秀	三井住友信託銀行(株)	インベストメント・アドバイザー	
	大谷 和也	奈良交通(株)	観光事業部グループ長	
	奥野 順也	西日本電信電話(株)	奈良支店長	
	北 義彦	南都商事(株)	代表取締役社長	
	草刈 徹	(株)JTB西日本	奈良支店長	
	嵩川 安雄	(一財)南都経済研究所	理事長	
	鈴木 啓司	オリックス(株)	阪奈支店長	
	高垣 一生	(株)近畿日本ツーリスト関西	奈良支店長	
	高橋 清治	大和ハウス工業(株)	奈良支社次長	
	巽 崇	JWマリオットホテル奈良	営業次長	
	中尾 哲弥	(株)マイナビ	奈良支社長	R2.11まで
	田中 勇次	(株)マイナビ	奈良支社長	R2.12から
	真柳 宏二	ホテル日航奈良	総支配人	
	水谷 豊	(株)あかしや	取締役社長	

広域支援検討委員会（14名）				
担当代表幹事	吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役会長	
委員長	中村 光良	中村建設(株)	代表取締役社長	
副委員長	朝廣 佳子	(株)読売奈良ライフ	代表取締役社長	
	大浦 晃平	(株)中和コンストラクション	代表取締役社長	
委員	小野 淳一	東洋テック(株)	奈良支社長	
	上武 敏一	上武建設(株)	代表取締役会長	
	河口 誠	(株)ドコモCS関西	奈良支店ネットワーク部長	
	阪田 文彦	福井水道工業(株)	代表取締役	
	佐藤 典嗣	佐藤木材(株)	代表取締役	
	鈴木 啓司	オリックス(株)	阪奈支店長	
	角田 正之	(株)伸芽教育	代表取締役	

	中尾 哲弥	(株)マイナビ	奈良支社長	R2.11まで
	伏見 及	有限責任監査法人トーマツ	マネジャー	
	森村 照私	大和総合会計事務所	所長	

女性活躍推進委員会（13名）				
担当代表幹事	井村 守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長	
委員長	和田 悟	(株)南都銀行	取締役常務執行役員	
副委員長	畠山 晴衣	(株)サロンまき	代表取締役	
	鈴木 啓司	オリックス(株)	阪奈支店長	
委員	我妻 詔子	(株)我妻運輸	取締役副社長	
	北見 憲之	大和証券(株)	奈良支店長	
	齊藤 正幸	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長	
	多田 和子	(株)きらら 西田きもの工芸	代表取締役	
	玉井 久実代	玉井産業(株)	専務取締役	R3.2から
	中川 裕子	日本電気(株)	奈良支店長	R2.11から
	布崎 嘉樹	第一生命保険(株)	奈良支社長	
	松本 喜久子	(福)白鳳会西大和保育園	理事長	
	森村 照私	大和総合会計事務所	所長	

総務委員会（15名）				
担当代表幹事	吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役会長	
委員長	出口 悦弘	デイトライト(株)	取締役会長	
副委員長	谷奥 忠嗣	谷一木材(株)	取締役会長	
	和田 悟	(株)南都銀行	取締役常務執行役員	
委員	植田 英寛	(株)中和商事	代表取締役	
	大浦 晃平	(株)中和コンストラクション	代表取締役社長	
	菊池 武之祐	奈良トヨペット(株)	取締役社長	
	近東 宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長	
	佐藤 典嗣	佐藤木材(株)	代表取締役	
	萩原 斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役	
	畠山 晴衣	(株)サロンまき	代表取締役	
	前川 浩二	(株)都市企画設計コンサルタント	代表取締役	
	松本 健介	S M B C 日興証券(株)	奈良支店長	
	松本 健澄	アルファホーム(株)	代表取締役	
	米杉 伸喜	(株)米杉建設	代表取締役	

8. 会勢

令和2年3月31日現在	会員数	185名
令和2年度中における	新入会員数	6名
	交代会員数	15名
	退会者数	10名
令和3年3月31日現在	会員数	181名

新入会者（6名）

4月	大谷 政義	日産プリンス奈良販売(株)	代表取締役社長
5月	小野 淳一	東洋テック(株)	奈良支社長
10月	平田 和智大	(株)日本アシスト	専務取締役
11月	巽 崇	JWマリオットホテル奈良	営業次長
12月	高木 鎮廣	(株)タカギ	専務取締役
12月	入江 啓方	住友生命保険(相)	奈良支社長

交代入会者（15名）

4月	福井 克久	大阪ガス(株)	奈良地区支配人
4月	細川 篤司	(株)ドコモCS関西	奈良支店長
4月	北端 丈裕	(株)三菱UFJ銀行	奈良支店長
4月	真田 浩治	(株)みずほ銀行	奈良支店長
4月	渡邊 貴彦	(株)三井住友銀行	奈良法人営業部長
5月	菊野 和洋	明治安田生命保険(相)	奈良支社長
5月	渋谷 守浩	(株)渋谷	代表取締役
6月	奥 裕子	学校法人ハルナ学園	理事長
7月	松浦 祐司	南都まほろば証券(株)	代表取締役社長
9月	田村 好美	奈良信用金庫	理事長
10月	西村 文博	キリンビール(株)	奈良・和歌山支店長
10月	羽廣 大樹	SMB C日興証券(株)	学園前支店長
10月	小林 正樹	三和住宅(株)	代表取締役社長
12月	田中 勇次	(株)マイナビ	奈良支社長
1月	真上 智裕	三井住友信託銀行(株)	奈良西大寺支店長

退会者(休会を含む)（10名）

4月	稲田 光守	稲田酒造合名会社		
4月	石西 輝行	石西呉服店	店主	
5月	東山 光秀	霊山寺	貫主	
8月	伴戸 忠三郎	(株)ことぶき	代表取締役	
8月	三枝 秀司	(株)奈良ロイヤルホテル	総支配人	休会
8月	大原 康敬	(株)近鉄百貨店奈良店	取締役常務執行役員店長	休会
3月	鳶川 安雄	(一財)南都経済研究所	理事長	
3月	青木 一郎	(株)天平庵	代表取締役社長	
3月	伊藤 良次	(株)大和軒	代表取締役	休会
3月	卜部 能尚	ウラベ木材工業	代表	

9. 資料

令和2年度事業計画

奈良経済同友会

昨年度は世界経済の減速を背景に輸出が減速するなか、全国の景気は緩やかに回復し個人消費の持ち直し、雇用情勢の改善がみられていたが、年度後半以降消費税増税の反動減、企業収益の弱含みに加え年度末にかけて新型コロナウイルス感染症が広がったことから、急速に厳しい局面を迎え、先行きの不透明感が増すなか予断を許さない緊迫した状況となっている。

一方、中小零細企業が大半を占める地域経済は、人口の東京一極集中、少子高齢化の進展、産業構造の変化などの構造的要因を抱えるとともに、全国の経済動向に大きく左右される状況が続いている。

このような経済社会情勢のもと、我々はまずは現下の新型コロナウイルス感染症の拡散防止とその甚大な影響への対策に専念することが求められよう。これと並行して、地元企業として、労働力人口減少に伴う人材確保難や働き方改革への対応、IT・IoTの導入、SDGsの追求など、絶えざる変革の意識も欠かせない。また、今回のコロナ禍を単に不幸な出来事と考えるだけでなく、危機対応の見直しや終息後に到来する新しい社会秩序に対する展望を合わせ持つきっかけとする必要がある。

我々はこれらの諸問題乗り越え、地域経済の確かな担い手として、独自の戦略と自主・自立の精神でこの大きな時代変化に即応していかなければならない。

このような認識のもと、我々企業経営者が相互に切磋琢磨しながら、地域の発展を願い、地域の立場に立って考えながら、倫理観の高い経営を心がけ、高い志と時代を見通した先見性と実行力により、新しい時代にふさわしい経営の在り方を追求するため、また地域への提言団体としての責務を果たすため、次のように事業計画を策定し、実行する。

<事業計画>

I 魅力と意義のある「例会」等諸活動の実施

- (1) 「話題の経営者」や「タイムリーなテーマ」での講演会・意見交換会・懇親会の開催。移動例会をも含め最適地での例会の実施
- (2) 企業見学、先進地域の見学と県外経済同友会との交流会の開催
- (3) 若手経営者の交流・研鑽、新入会員勧誘の場としての「フォーラム」の開催
- (4) 会員相互の親睦を広めるため、ゴルフ親睦会など多彩な交流会の実施
- (5) 海外視察研修の実施

II 「行政との意見交換会」の実施

社会インフラ整備、地域経済産業振興、医療政策、観光活性化など地域の活性化をテーマに奈良県幹部等との意見交換会の継続的实施

Ⅲ 委員会活動の充実・拡大

令和2年年頭所感を基本に、奈良県の地域活性化に資するため、大学、行政等とも連携しながら、現在実施している「企業活性化委員会」「観光活性化委員会」「総務委員会」の充実及び新たな委員会の立ち上げを計る。

Ⅳ 同友会の存在価値を高めながら長期的視野にもとづく会員増強

Ⅴ 「ネットワーク」活動

(1) 全国経済同友会セミナー、全国経済同友会代表幹事円卓会議、西日本経済同友会会員合同懇談会、西日本経済同友会代表者会議、関西財界セミナーなどへの積極的な参加と、関係諸経済団体との連携の強化

(2) 滋賀・京都・関西・神戸・和歌山・奈良の「関西地域6経済同友会代表者懇談会」への参加・交流

(3) 奈良県大学連合、奈良県地域留学生推進会議はじめ県内大学との連携及び支援

Ⅵ 関係諸経済団体との連携のもと、京奈和自動車道並びにリニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪間の早期全線開通促進

※なお、現在進行している新型コロナウイルス感染症の状況によっては、上記計画を見直すこともあります。

以 上

令和3年1月6日

令和3年年頭所感

奈良経済同友会
代表幹事 吉田 裕
代表幹事 井村 守宏

昨年、世界的に広まった新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という）は、我々の生命を危険に曝すのみならず、これまで経験したことのない規模とスピードで社会経済システムの変革も迫るものとなった。

新型コロナの収束については、今後の治療薬、ワクチン等の開発・普及に待つしかないが、認識しておかねばならないのは、アフターコロナに我々を待ち受けているのは、これまで慣れ親しんできた世界ではなく、新しい価値観に基づき、新しい仕組みで動く社会であり経済システムであるということであろう。

当会はこれまで例会や各種委員会活動等で得た知見をベースに、毎年の年頭所感で奈良県の地域活性化方策について表明してきたが、今回の新型コロナのもたらすインパクトの大きさと今後もしばらく現下のような危機的状況が続くとみられることから、今年の年頭所感では、我々の目の前に立ちはだかる新型コロナへの対処に焦点を合わせつつ、奈良県の地域活性化について考えていくこととした。

記

以下、当会が奈良県地域活性化の要点と考える「企業活性化」と「観光活性化」という2点から奈良県の地域活性化について述べる。

I. 「企業活性化」について

1. デジタル革新の加速

新型コロナの感染が続く中において、県内企業でもリモートワークは働き方改革とも相まって非対面型の企業活動の形態として有力な選択肢となっている。

今後はさらに、経済活動のイノベーションや市民生活の向上に向けて、AI、IoT、5Gなどのデジタル技術の導入が促進されるのに加え、高度なデジタル通信サービスの提供が受けられる環境整備が求められる。

このことから、DX導入に向けて、県内企業においてもデジタル投資の重要性への認識を高め、従業員のデジタルリテラシーをさらに向上させていくことが必要と考える。

2. 地域におけるイノベーションの創出

新型コロナの感染拡大は、社会経済システムに大きな変化をもたらしており、今後においても「ウイズコロナ」の中で経済活動を持続的に発展させていくためには、これまでの発想や考え方を見直し新たな手法を生み出していかねばならない。

パラダイムシフト化が多くの分野で進行する中であって、地域自らがイノベーションを創出し、地域に新たな付加価値を生んでいくような流れと環境整備を官民一体で取り組んでいくことが求められる。

3. BCP整備で感染症による経営リスクの低減

新型コロナに対する治療薬やワクチンの開発が進められているが、完全な収束までにはなお時間を要する。それゆえ、感染症下の事業継続は、災害発生直後から復旧を目指す自然災害とは異なり、感染拡大の防止、継続・縮小事業の選定、人員や運転資金の確保等、企業にとっては数か月から数年単位での長期の事業計画の変更や感染症ならではの対応が求められる。

当会では、今般の新型コロナの感染拡大にあたり、経営リスクの低減のため、自然災害のみならず感染症にも対応したBCPの早急な見直しと整備について県内企業に改めて警鐘を鳴らすとともに提唱を進めていきたい。

4. 多様で柔軟な働き方を実現するビジネスの展開

豊かな自然が残り、豊富な歴史文化遺産を擁する奈良は、自然災害も少ない。そのうえ大阪や京都など大都市にも近いことから、高い文化・教育・生活水準をキープできる住みやすい土地柄といえよう。

国では、コロナ禍を契機に、都会から地方への分散の流れをつくろうとしているが、県内でも、ワーケーションやリモートワーク等多様で柔軟な働き方やライフスタイルが広がることに期待が膨らんでいる。働きやすく住みやすい場所としての新しい奈良の魅力をアピールするとともに、これをビジネスチャンスとして活かす方策についても考察を進めていきたい。

II. 「観光活性化」について

1. マイクロツーリズムを広める（奈良県民、近隣府県住民への県の魅力発信）

「ウイズコロナ」時代には、地元の人たちが近場で過ごす旅のスタイルである「マイクロツーリズム」が注目される。奈良県民は豊富な観光資源に恵まれる地に住みながら意外と奈良のことを知らない。奈良県内にある旅館やホテルで、温泉や自然散策、料理を楽しむ、活力を取り戻す滞在型旅行は、安全・安心に過ごしながらか地域の魅力を深く知るきっかけになり、地域経済循環にも貢献する。また、奈良県民が地元の魅力を知ることが奈良県に対する愛着と誇りを醸成するとともに県民による県の魅力発信にもつながることが期待される。新型コロナで県境を跨ぐ移動が抑制される今こそマイクロツーリズムを広めていきたい。

2. 国内観光客をターゲットにした観光魅力の創出

ここ数年のインバウンド増加は奈良にも大きな賑わいをもたらしたが、新型コロナの感染拡大により消滅してしまった。コロナ禍の今こそインバウンドに頼らない、国内観光客をターゲットにした観光魅力の創出が求められる。

全国的にみれば、インバウンドが国内旅行消費額に占める割合はピーク時でも2割程度。国内観光マーケットは国内観光客が主力である。奇しくも今回のコロナ禍は、奈良観光にとって振れ幅の大きいインバウンドではなく、本来のターゲットである国内観光客に焦点を合わすことの大切さを示唆するものとなった。

奈良観光においては、経済効果向上のため日帰り型から宿泊・滞在型への観光スタイルの変化が長年の課題となっている。国内観光客に対し「日本のふるさと奈良」をテーマとして「うまいもの」「ゆったりした奈良の暮らし」「大和野菜」「学び巡る楽しみ」等これまで十分に発信できていなかった奈良の資源をブランド価値のあるものにまで高め、インバウンドに頼らない奈良観光を構築する方策について研究を進めていきたい。

3. 観光産業を中心とした地域循環型経済の強化

「ウイズコロナ」の時代にあっては、地域経済の自立をめざし地域循環型の経済をより強化することが求められる。

特に観光産業にあっては、現況の地域経済循環構造の分析を行うとともに、地域の資源や地域の強みを再認識しながら観光地奈良の競争力をどう高めていくのか、また、域内の経済の循環性を高めるために、生産に必要なモノやサービスの域内調達率をどのように高めていくのかなど、地域循環型経済の強化に向けた議論を本年も引き続き提起していきたい。

奈良経済同友会では、上記の事項を基本として、本年も奈良県の地域活性化に向けた提言やビジネスチャンスの発掘に注力していきたいと考えている。

また、昨年、奈良県女性活躍の場の拡大を考える「女性活躍推進委員会」及び広域災害発生時の奈良の役割を考える「広域支援検討委員会」の2つの委員会を新たに立ち上げており、活発な委員会活動により、引き続き、より良い奈良を追求していきたい。

以上